

市長ふれあい訪問 ④

市内で活躍している団体や地域に貢献している団体などを市長が訪問します

八潮市くらしの会

消費生活の改善・向上を目指す、生産者、販売者、消費者相互の意思疎通を図り、安心して豊かな消費生活を営むことができるように、いろいろな面から市政に協力いただいている「八潮市くらしの会」が多田市長を訪問しました。

市長 皆さんこんにちは。今回の市長ふれあい訪問は、「八潮市くらしの会」の皆さんが訪問してくれました。よろしく願います。

始めに、いづごろからどのような活動をされているのか聴かせてください。

会長 昭和42年、国から「消費生活の向上・改善指導」があり、八潮市では「八潮市連合婦人会」がこの要請を受けて活動を開始しました。

その後、平成5年7月1日「八潮市くらしの会」として新たに発足し、消費生活や日



常生活に係る研修、視察、実習などを行っています。

さらに、市のイベントなどを通して、積極的に地場産野菜の消費拡大に協力するなど、会員同士日ごろの生活が心豊かに送れるよう、和気あいあいの中で協力、工夫して活動しています。

市長 日ごろの活動で、ご苦労されていることはありませんか。

会長 毎年数カ所、その時の消費生活環境にあった内容・場所を探して視察研修を行っています。視察地の選定に毎回悩まされています。

また、衣類・雑貨などの再利用方法として、長所を生かしたものがづくりを心がけていますが、なかなか難しいものがあります。

市長 最後に、今後の抱負などを聴かせてください。

会長 現在会員数は27人ですが、今後、この会が発展していくためには、会員数を増やすとともに、設立20周年に向けて、今まで出しかつたアイデアなどを冊子にまとめてみたいと考えています。

市長 皆さんの活動が各種イベントを盛り上げ、また、消費生活の改善・向上に貢献いただいていることに心から感謝いたします。

健康に留意して、これからも多方面にわたる活躍に期待をしています。今日はありがとうございました。

八潮市から日本を元気に！夜市だ！2011



7月30日、八潮駅構内や南口駅前公園予定地などで、八潮市制施行40周年記念事業「八潮の夏だ！夜市だ！2011」が開催されました。

会場では、八潮市から日本に元気を届けようとステージライブや盆踊り、八潮市特産品・推奨品、地元新鮮野菜の販売などが行われたほか、東日本大震災復興支援イベント特別企画として茨城県守谷市・つくばみらい市・つくば市や福島県人会などの出店もあり、来場した皆さんは、八潮の夏の夜を満喫していました。

好きな絵がアクセサリーに変身



7月29日、わんぱる（だいばら児童館）で小学生を対象に「夏休みイベント プラパン作り」が行われ、16人が参加しました。

参加者は、好きなアニメのキャラクターなどをマジックでプラスチックの板に書き写し、オーブントースターで熱を加えたのち、形を整えプラパンを作成しました。

物作りの楽しさを体験し、友だちの作品と見比べたりしながら作品の出来上がりに満足した表情を浮かべていました。

いきいきやしお 写真館

④文化スポーツセンター

⑤ゆまにて

☎東北地方太平洋沖地震緊急対策担当 ☎351

埼玉県避難者向け借り上げ住宅 入居申し込みのお知らせ

埼玉県では、東日本大震災に係る避難者に対して、災害救助法の適用による応急仮設住宅としての民間賃貸住宅を借り上げ、住宅の提供を行っています。

このたびの住宅の借り上げは、岩手県、宮城県および福島県からの支援要請に基づいて行われているもので、震災以降に避難者名義で契約したものであっても、借り上げ条件に合致すれば契約の置き換えを行うことで入居が可能となる場合があります。

なお、条件によっては入居のご希望に添えない場合がありますので、県都市整備部住宅課（☎048-830-5573）または市東北地方太平洋沖地震緊急対策担当（☎351）へお問い合わせください。募集期間は、8月31日までです。

市職員を福島県へ派遣

8月1日から2月29日までの7カ月間、東日本大震災で被災した福島県西白河郡矢吹町に職員延べ4人を派遣します。

派遣先では、被災した家屋を対象とした固定資産税の減免に関する事務を行う予定です。

☎総務人事課 ☎253

福島県からの避難者への情報提供

市では、福島県災害対策本部の依頼を受け、福島県からの避難者への情報提供として、福島県の地元紙2紙「福島民報」「福島民友」を次の公共施設に設置しています。どうぞご利用ください。

- ①市役所1階ロビー
- ②八幡図書館
- ③八条図書館

東日本大震災の被災者を応援します